

「神奈川県再犯防止推進計画（第2期）」の評価方法について

1 方向性

第2期計画においても、第1期計画と同様に文章による評価を行う。なお、本会議での意見を踏まえ、数値目標を設定した進行管理の方法を検討したが、本計画に位置付く事業には、過去に犯罪をした者だけを対象としていないものや、数値による指標の設定が困難なものが多いことから、数値目標を設定した進行管理はなじまないと判断した。ただし、各所管課には、取組状況の把握に当たり、可能な限り実績を数値化するよう依頼し、年度ごとの進捗状況を把握しやすくするよう努める。

2 基本的な考え方

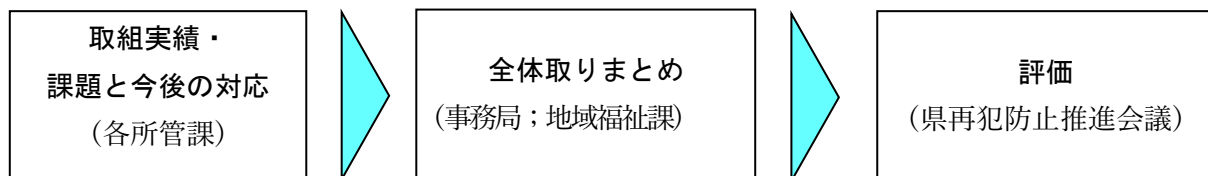
本会議において取組状況に対する意見を伺い、各所管課にフィードバックすることにより、今後の取組の改善を行う。

3 計画期間を通じた進行管理の流れ

計画を着実に推進するために、毎年度、計画に位置付けた施策の評価（前年度取組実績に対する評価）を行い、取組の改善等、計画の効率的な推進を図る。

4 年度ごとの進行管理の流れ

各年度における計画に位置付けた取組に係る評価については、次のとおり実施する。



(1) 実施（DO）

① 取組状況

計画に位置付けられた個々の取組ごとに、各所管課において実績から課題や今後の対応等の整理を行う。

② 全体取りまとめ

事務局（地域福祉課）において、各所管課の実績等について全体の取りまとめを行う。

(2) 評価（CHECK）

神奈川県再犯防止推進会議において、「施策の展開」項目（小柱）ごとに文章による評価を行う。

(3) 改善（ACTION）

評価結果を各所管課へフィードバックし、今後の事業の改善を図るほか、次期計画（P

LAN) への反映を検討する。

5 公表方法

年度ごとの評価を県ホームページへ掲載する。